



西山形 コムスクだより



令和6年 10月8日
西山形小学校
運営協議会
事務局
NO.1

前期の教育活動を振り返って

5月の創立130周年記念及び新校舎落成記念式典を経て、新校舎での生活が軌道に乗ってまいりました。地域や保護者の皆様には、登校を毎朝見守っていただき、町探検やスモモの収穫、虫探しとカブトムシの飼育、とかみ山登山、田植えの見学等々、とかみ学習を中心に快くご指導とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

地域の皆様の温かさに触れ、子どもたちの中に「自分たちの西山形地区」という思いが芽生えています。私たち教員は、関わり合いながら学ぶ子どもたちの姿を見て、「地域を担う思いは、こうして育っていくのだな。」と実感することができました。これから寒い時期に入りますが、引き続き、地域の皆様のご協力をいただきながら、校内外の人的・物的な教育資源をフル活用して学習の質の向上を図っていきたいと思います。後期もよろしくお願いいたします。前期の主な教育活動を振り返ります。

【経営の方針重点】★は平和6年度の重点

方針1：五感をはたらかせた体験・学びを充実させていく。

方針2：「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていく。

★方針3：西山形地区の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を、最大限に生かしていく。



1年生 双葉地区で虫探し



2年生 地区探検で大発見



地域学校協働活動推進員の鬼島悦雄先生から、地域の先生と子どもたちをマッチングしていただき、全児童が地域の方々と共に楽しく活動することができました。やはり、地域のことは地域の先生と学ぶのが一番です。

見慣れた西山形地区がたくさんの新発見で、これまでと少しちがって見えるようになりました。



3年生 とかみ山へ登ろう



4年生 とかみ共生苑訪問



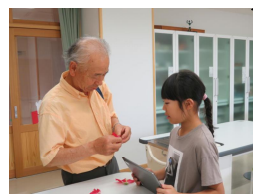
5. 6年生 西山形地区の未来を考えよう



クラブ活動でもお世話になりました。



5. 6年水質調査



西村さんとスモモの収穫

【成果】

重点に基づき、地域の自然を通して、地域の人達とじっくり関わり、体験を通して地域のよさを実感することができました。

方針5:教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、共通理解を図りながら組織および環境を整えていく。

【成果】 鬼島先生始め、地域の方々のお力添えがあり、全ての学年で「とかみ学習」に取り組むことができました。教員が替わっても積み上げることができています。また、見守り隊の朝の見守りにより、毎朝、教員が教室で児童を迎えることができました。

方針4:隣接するコミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、それらにつながる学習を実施していく。

【成果】 学童の先生方との日常的な情報交換やコミセンでのスクールコンサート開催等により、子どもたちが学ぶ環境を、協同で、広げ整えることができました。

たくさんの出会いが、子どもたちの心を豊かにしてくれました。子ども一人一人と言葉を交わしていただいたおかげで、子どもたちの心が和み、「西山形の人たちはみんなとってもやさしい!」と実感しました。

子どもの姿から、こうして学校と地域で教育を担うことが「郷土を愛する子ども」を育むことにつながっていると感じます。R2年度から先駆的に取り組んできたコミュニティスクールとしての活動が年々積み重なり、子どもたちも教員も地域の一員として、学ぶことを楽しんでいます。

